

パブリックコメント結果について

1 実施期間 令和元年7月8日(月)～令和元年8月7日(水)

2 実施結果 いただいたご意見：8件(人)

3 取りまとめの注意点

提出いただいたご意見等につきましては、とりまとめの都合上、適宜要約させていただいております。

NO	ご意見・ご提案の概要	ご意見に対する市の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性や緊急性の高い医療機関の誘致を要望し、それに伴う誘致並びに人員確保に向けた施策を提案します。公共施設ゾーンを軸に新規雇用や税収増加のロジックを組み立てれば、公益性が高く議会や市民の理解を得やすいほか、有明海沿岸自治体との連携により地域の賑わいも期待できます。 	<p>高度な医療機関の誘致に関するご意見につきましては、地区への民間誘導と併せて検討して参ります。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・この地区は海が近く、キャンプ場を道の駅の近くに作れば人気がでると思う。荒尾市出身のお笑い芸人ヒロシさんがキャンプブームの一端を担っているため、彼にプロデュースしていただくと面白い。 	<p>自然の中で家族や友人とアクティブに遊ぶことができるアウトドア施設やサービスなどを提供し、子育て世代等が安心して楽しめる環境を提供したいと考えています。いただいたご意見につきましては、民間誘導と併せて検討して参ります。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・高台に競馬場、公園、馬の神を祀る神社を作る提案をします。これを作ることで防災効果も見込め、高台公園では景観も楽しめます。 	<p>土地区画整理事業において地区全体の地盤をかさ上げし、防災力の強化を図ります。そのうえで、有明海を眺望できる公園や緑地等の環境整備を図る計画です。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・本構想案は、何でもありそうで、どこにでもありそうな街をイメージさせ、人を引き寄せる求心力が幾分不足しているように思います。地区をより際立たせる歴史的・地理的特性に根差した街づくり、周辺住民とひとつの夢を共有できる街づくり（街に伝わるルーツを残した街づくり）を提案します。 	<p>地域の歴史を継承する機能として、馬事文化など荒尾競馬の歴史を残していく考えですが、競馬史以前の地理的、地域的な特性などの郷土史も何らかの形で伝承していきたいと考えます。</p> <p><u>30 ページの具体的な手段案に「郷土の歴史を学べる施設」を追加します。</u></p> <p>また、現在は南新地地区と土地区画整理</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・大島貝殻節にあるように「キャーガラ(貝殻)」を街づくりのキーワードに施設のネーミングやシンボル等を設定する。堤防内壁を貝灰漆喰で化粧した屋外ギャラリーなど ・荒尾駅から南新地に至る動線をシンボルロード化する。 ・大島川を陸地化することで、高潮対策と北新地の地域おこしに寄与する。 	<p>事業の施行地区名を呼称していますが、街のネーミングなども公募等により決定し、地域住民の方に愛着をもって接していただけるような事業展開を考えています。</p> <p>荒尾駅への動線に関しましては、関連事業として整備計画を検討してまいります。なお、港湾区域となっています大島川の陸地化に関しましては、港湾施設としての位置付けなど関係者の意見を聞きながら将来的に検討していきたいと考えます。</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> ・荒尾の特長を生かせていない。「荒尾」「南新地」といった強烈にPRできる特徴があまり見えてこない。インパクトがあるシンボルタワーとして「旧四ツ山鉦竪坑櫓(名称:あらお採光館)」を提案したい。採光はかつての石炭の「採鉦」に掛け、「光」は地産地消を推進する地域再生エネルギーを意味する。シンボルタワーには展望所や回廊を設置し、潮の香りを受けて自然や夕陽を満喫できる癒しの場所とする。櫓下にはステージや芝生広場を設け、観光イベントを県外にPRする。 ・大規模な商業施設等はいらないので、ウェルネス拠点の重点整備要望の優先順位が高い「心を癒してくれる」「自然を感じることができる」に沿うよう公園・道の駅前広場に面積を最大限活用し、水前寺公園のような「借景」を取り入れた広大な公園とする。 ・他の道の駅に負けない提案公募型により出店を促すなどのバックアップをし、若く積極的で斬新な考え方をもち経営者等を登用する。 ・温浴施設が「温泉」なら南新地にある必要はなく、投資するならタラソテラピー 	<p>本構想においては、「荒尾ならではの」というテーマを「食」や「景観」及びその活用シーンなどで表現しています。しかし、地区を強くPRできるものとして、シンボルタワーなどは効果的と考えられますので、<u>33 ページの具体的な手段案に掲載しています「あたりを見渡せる高い展望台」の横に「シンボルタワー」を併記し、具体的な検討をしていきたいと考えます。</u></p> <p>また、広大な公園等の提案に関しましては、土地区画整理事業の性格上、地権者に皆様に返還しなければならない土地及び事業費を捻出するために一定面積の土地を民間事業者等に売却しなければならない事情もございますことから、相応の整備面積となりますことを理解いただきたいと思います。</p> <p>道の駅につきましては、施設整備計画を進めており、運営方法なども今後検討して参りますので、いただいたご意見を参考とさせていただきますながら温浴施設や宿泊施設など民間誘導と併せまして具体を検討していきたいと考えます。</p>

	<p>効果のある「潮湯」に傾注していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設をわざわざ南新地に作る必要はなく、荒尾駅と南新地の動線上に作ればよい。「癒やし」を優先し、ゴチャゴチャするより広々とした空間を積極的に提供し、公園・緑地、道の駅、道の駅前広場等を充実させ、建設費の節減、維持費の最小化を図る。 	
6	<ul style="list-style-type: none"> ・在日の外国人の方との気軽に交流できる施設、小さなイベント(音楽等)ができる多目的室、料理教室とは別に調理したものを食べることができる部屋を作りたい。様々な世代が元気に活動でき、楽しめる施設を作りたい。 	<p>子供が学べる、異文化に触れることができる施設なども地区に必要な機能と考えています。</p> <p>また、今後「道の駅」や「保健・福祉・子育て支援施設」などの施設整備を構想していく予定でございますので、外国人の方も含めて多くの方が観光や交流の拠点として利用いただけるような各施設の整備構想において、いただいた意見を参考とさせていただきます。</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した中央公民館の移転（調理室完備）や、60歳以上の方の雇用を作れば荒尾が元気になる。 ・アウトドア施設では、お笑い芸人ヒロシさんのアドバイスによるキャンプ施設、バーベキューを楽しめる場所を。 ・道の駅では、そこでしか買えないもの(特産品)、高くても価値のある物をそろえてほしい。また様々なイベント、体験ができるコーナー、子供達を楽しめる遊具が欲しい。俳句や写真などのコンテストを行い、市民の作品を展示できる展示室やイベント室をつくらせたい。道の駅から湿地センター、万田坑へシャトルバスを運行する。 	<p>ウェルネスとは「輝くようにいきいきとしている状態」などと定義されており、高齢者の雇用や生き甲斐づくりも重要なテーマと考えています。</p> <p>本構想の実現に向けては、民間事業者や市民の皆様を含めた官民連携が重要と考えていますので、いただいたご意見につきましては、道の駅の整備計画や民間誘導などと併せまして具体を検討していきたいと考えます。</p>

8	<p>・ウェルネス拠点においては、道の駅を中核施設に位置付けられていると思いますが、道の駅に来て消費して行くのは60代以上のシニア層が大半を占める状況と考えます。サブターゲットにもあがっていないシニア層は、移住なども否定されているような疎外感を受けないか懸念します。</p>	<p>ウェルネス拠点を特徴ある魅力的な場所にしていくためには、重視する主要なターゲットを明確にし、地区に誘導する機能などを具体化していく考えでございますが、すべての世代の方に楽しんでいただくまちにしたいと考えています。ご指摘いただいたご意見を踏まえまして<u>20ページの2行目及び末尾の表現を一部修正します。</u></p>
---	---	---